

日・エチオピア共同声明（骨子）

1. 冒頭

- 両国首脳は、80年以上に亘る二国間関係の強化、地域及び国際場裡での協力関係強化について協議。

2. 二国間関係全般

- エチオピア側：アフリカ大陸の平和と安定のため、リーダーシップをとり続ける旨表明。
- 日本側：第5回アフリカ開発会議（TICADV）のフォローアップを約束。

3. 経済関係

- 日本側：対エチオピア投資に関する日本企業の高い関心を説明
- エチオピア側：中小企業を含めた日本からの直接投資への希望及び物流や税関手続きの改善を含め、直接投資の障害を緩和する努力を行っていくことを表明。
- 直行定期便運行のための交換公文署名が二国間のビジネス関係強化へ繋がることを期待。

4. 経済協力分野での協力

- エチオピア側：日本が協力する「カイゼン」等人材育成分野における取組が、同国経済に重要な役割を果たしている旨言及。
- 日本側：人間の安全保障の観点に基づき、農業・農村開発、インフラ整備、教育などの分野での継続的な支援を表明。（アフリカにおいて初となるTICAD産業人材育成センターの始動、地熱分野における協力及び円借款再開の検討、都市給水案件にかかる技術協力及び貧困農民支援の検討等）

5. 人的交流

- エチオピア側：2020年東京オリンピック開催決定に祝意を表明。スポーツを通じた人的交流促進への期待を表明。

6. 「アフリカの角」地域の平和

- 日本側：エチオピアによる南スーダン及びソマリアの政治対話促進に向けた貢献を評価。アフリカ平和安全保障訓練センター（ACPST）への50万USDの貢献を発表。
- エチオピア側：国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS）への自衛隊派遣を含む日本の貢献を評価。また、PKOセンターへの支援を歓迎。
- 日本の安全保障だけでなく地域及び世界の平和と安定に貢献する「積極的平和主義」に基づき行動するとの日本の決意とイニシアティブを歓迎。

7. 国際場裡における協力

- 日本側：「女性が輝く社会」へのビジョンを紹介し、エチオピアの女性企業家等の招待を表明。
- 二国間クレジット制度（JCM）の実施に向けた協力で一致。 (了)